

令和3年度 学校評価報告書

丹波篠山市立味間小学校

校長 松 笠 勝 也

1 学校教育目標等

夢や目標を持ち、将来にわたって学び続ける児童の育成

2 今年度の重点目標

- (1) 夢や目標をもち、自立して未来に挑戦する児童の「生きる力」を育む
- (2) 確かな学力の育成をめざし、自ら学び自ら考える授業を創造する
- (3) 児童が持っている良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る
- (4) 保護者・地域との連携を深め、ふるさと味間に根ざした「地域とともにある学校づくり」を探究する。
- (5) 安全安心な学校づくり・学級づくりを基盤とした、豊かな人間関係と人権感覚を育成する。
- (6) 自分の健康や体力に興味をもち、体育やスポーツ活動の楽しさや喜びを味わわせ、体力・運動能力の向上を図る。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
キャリア教育	児童に夢や目標を持たせ、学ぶことの意義について指導している。	B	様々な学習活動で児童一人ひとりの言動に目を向けたり、耳を傾けたりしながら、学校生活全体を通して、児童が夢や目標を持って取り組めるように指導していく。
学習指導	児童一人一人が1時間の学習に満足できる授業にする。	B	全ての子どもにとって「分かる授業」を目指して、教職員間で学び合いながら授業力の向上に励む。そして、児童が意欲的に学ぼうとする姿が見られる授業をしていく。
	児童が、主体的、対話的で深い学びができるよう指導方法を工夫している。	B	児童が自信を持って自分の意見を発表できるような学級づくりを心がける。児童が自分の意見や考えを発表し、友だちと話し合い聞き合いたくなるような授業を行う。
生徒指導	いじめや仲間はずれを許さない楽しく明るい学校生活を送れるよう指導を行っている。	A	学校生活の中でも、困っている友だちに声をかけたり、助けたりしている姿をよく見かける。今後も児童一人一人の共感的理解を深め、「いじめの未然防止」「早期発見」「早期解決」に学校全体で取り組んでいく。
	あいさつや基本的な生活習慣が児童に定着するよう、手立てができていく。	B	感染予防でうがいや手洗いができている児童が多い。しかしあいさつする児童が多いとは言えない。今後も、学級活動や道徳の学習を通して基本的な生活習慣が身につくように指導をしていく。
ふるさと教育	丹波篠山のよさを児童が見つけられるように、地域の人材・自然・施設を積極的に授業に活用している。	C	今年度は、感染症予防のため体験学習の機会が大きく減っている。今後は、地域の人材を学校に招いたり、インターネット等を活用したりして、ふるさとについて学べる機会を増やしていく。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・人権教育の観点から。子ども同士のケンカがあったときなどに、周りの友だちや先生がどのように対応するかが大切である。電車内でのトラブルを黙認した事件があったが、見て見ぬふりをするようではよくない。社会に出ても多くの人とコミュニケーションを取る必要があるため、対応できるように、学年縦のつながりが作れるようにしたほうがよいと思う。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・今年、コロナ禍で先生方も学習指導に苦慮されたと思う。先生の元気な様子が子どもに伝わるので働き方にも工夫してほしい。
- ・お昼に運動場の横を通ると、半袖半パンで遊んでいる元気な姿に感心している。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none">・児童の評価がよい。保護者や教師と評価が異なるが、信憑性は児童の方があってはならないか。世の中は夢のない学生が多いと言われている。暗記だけでなく、考えて工夫して学習することが大事だと思う。・味間小学校は複数学級があるので先生も学年内で相談できる良さがある。複数指導を取り入れるなど工夫して授業をしてほしい。子どもたちも失敗を恐れず、そこから学ぶ学習を期待したい。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none">・新聞等でいじめによる自殺がある。学校に相談しても対応してもらえなかったと聞く。初期の対応が大事だと思う。自分も大事だから人も大事にするという考え方を育てるようにしなければならない。・コロナ禍でたいへんだったが、良くなった点もある。手洗いや早寝早起きが大事であることが分かった。生活を改める絶好のチャンスと捉えればよいと思う。
ふるさと教育	<ul style="list-style-type: none">・講師として地域の人を活用していただきたい。今年はコロナ禍でやりにくい面があったと思うが、今後まちづくり協議会と協力して、いろいろな地域の情報も集めて、味間のPRをしてほしい。例年行っている「走り方教室」も意義のある取組と考える。・お茶摘みがなかった分、寒茶をいただくことができた。地域のものに触れ合うことができてありがたかった。学校ホームページについては参観日がない分もっと更新してほしい